

学校だより



# 由木中央小

平成20年6月3日  
学校便り6月号第3号  
八王子市立由木中央小学校

HPアドレス：<http://www.educity.hachioji.tokyo.jp/school/yugce/>

## 最高の力を出した由木っ子の運動会

校長 飯田 薫

昨日、関東地方に梅雨入りが発表され、平年よりも6日早く、昨年よりは20日も早い梅雨入りとなりました。梅雨は大雨の季節ともいうように、今日は早速の雨模様です。しかし、学校の窓から見える木々は、濃い緑におおわれて、自然が益々生き生きとしてきているように感じます。

さて、一昨日の運動会は大成功に終わることが出来ました。朝6時にはたくさんの方の保護者の皆さんや地域の方の、校門の前で今か今かと開門の時を待っている様子に、運動会への熱い期待が感じられ嬉しくなると同時に、期待に応えなければと改めて感じました。

1年生のハピネス、2年生の荒馬等、かわいらしさの中にも、切れの良いリズムに乗った、演ずる楽しさを感じることが出来ました。3年生のエイサー、4年生の天地響鳴等、演ずる表情の豊かさに自分から創造していかうとする工夫が感じられました。5年生の南中ソーラン、6年生の組体・出航等、力強さそして、力を合わせる美しさ、本当に見事に演じることが出来ました。

本番が近づくと雨の日が多くなり、思うような練習も出来ませんでした。一つひとつの個別の演技は、磨くことが出来ても、全体の隊形の練習が出来ず、図で説明しイメージをすることで子ども達は理解していったところもありました。本当に力のある由木中央小の子ども達です。練習計画の緻密さと一つひとつの動作の基本を忠実に実行できていったところが成功につながったと感じています。

6年生は早朝からグループ練習でバトンの受け渡しから、タイムへの挑戦等子ども達自身が工夫を重ねてやってきました。これは考える力につながる基本だと感じます。練習でやったことが必ず結果となって表れてくることを感じたことでしょうか。本気になっての練習や繰り返し繰り返しの練習は、自分たちの力となり、自信となります。また、それが次への生きる力となって備わり、いろいろなことに挑戦していく可能性につながればと思っています。

また、児童会のスローガンにもありましたが、成功の裏には「最高の運動会にしよう」とする取り組みが、4月より各学級学年で行われていました。その中では、人とのかわわりを大事にして日々を過ごしてきていました。友だちの良い行動、励まされた言葉を出し合うことや1分間スピーチで紹介する等の取り組みもありました。人の一生には、友だちの言葉や教師の励ましで、その後の人生がまったく異なったものになってしまう瞬間というものがあります。この大切な一瞬は、偶然生まれるものではありません。こうした地道な取り組みが、創り出していると感じています。

最後に、運動会を実施するに当たって、準備や後片付け等お手伝いいただきましたPTAの皆様をはじめ、大勢の地域・保護者の皆様に心より御礼申し上げます。